

地域再生計画評価調書（地方創生推進交付金事業効果検証調書）

地域再生計画の名称	新技術の実証・新用途の開発による「ものづくり産業」から「価値づくり産業」への産業高度化・担い手人材育成事業	地域再生事業の名称	新技術の実証・新用途の開発による「ものづくり産業」から「価値づくり産業」への産業高度化・担い手人材育成事業	令和5年度評価
-----------	---	-----------	---	---------

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

評価指標		基準年数値	目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度(上段は増加分、下段()内は総数)				達成度についての分析	
				2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)		最終年目標数値 2023年
目標1	今治価値づくりコンソーシアムへ参画する地元企業数	0 社	目標	+20 社 (20 社)	+40 社 (60 社)	+60 社 (120 社)	+120 社 (120 社)	目標1については、令和5年度に新たに24社の参画を得られ、合計68社となり、目標数値を上回ることができなかったが、コンソーシアム主催の事業成果報告会等の開催により市内企業への横展開を図ることができた。 目標2についても、地元支援機関や金融機関の職員等、令和5年度に新たに4名の参画を得ることができた。目標数値を上回ることができなかったが、運営サイドの人材について増強を図り、専門的な観点を取り入れながら、本事業について多角的に検討することができた。 目標3については、目標数値を上回る成果を得ることができなかったが、市内ものづくり産業の高付加価値化を牽引するモデル事業の創出に成功した。 目標4については、伴走支援事業者との連携により、目標数値を上回る成果を得ることができた。
			実績	+29 社 (29 社)	+15 社 (44 社)	+24 社 (68 社)	+68 社 (68 社)	
			達成度	145.0%	73.3%	56.7%	56.7%	
目標2	今治価値づくりコンソーシアムを通じて本事業の運営側に参画する地元人材数	0 人	目標	+10 人 (10 人)	+15 人 (25 人)	+20 人 (45 人)	+45 人 (45 人)	
			実績	+12 人 (12 人)	+3 人 (15 人)	+4 人 (19 人)	+19 人 (19 人)	
			達成度	120.0%	60.0%	42.2%	42.2%	
目標3	本事業を通じた新技術を活用した新商品・新サービス開発件数	0 件	目標	+0 件 (0 件)	+2 件 (2 件)	+8 件 (10 件)	+10 件 (10 件)	
			実績	0 件 (0 件)	+2 件 (2 件)	+3 件 (5 件)	+5 件 (5 件)	
			達成度	-	100.0%	50.0%	50.0%	
目標4	本事業を通じた新用途開発件数	0 件	目標	+0 件 (0 件)	+2 件 (2 件)	+5 件 (7 件)	+7 件 (7 件)	
			実績	0 件 (0 件)	+7 件 (7 件)	+2 件 (9 件)	+9 件 (9 件)	
			達成度	-	350.0%	128.6%	128.6%	

評価年度において実施した事業

事業名	今治の産業パワーアップ推進事業	総合戦略における位置づけ	(基本目標)だれもがこの地で元気に働けるふるさとを創る (具体的施策)食品やエネルギー等地域産業とともに成長するまちづくり (取組)地域産業の競争力強化	事業費	40,479千円
事業概要 ○今治価値づくりコンソーシアムの構築 今治地域地場産業振興センター内に事務局を設置し「今治共創ラボ」を運営するとともに、「今治共創ラボ推進委員」や「価値づくりコーディネーター」を配置して市内企業の支援体制の強化を図った。 令和5年度は、付加価値の高いものづくりに取り組む市内企業6社が参加し、「地場産業とクリエイターによる共創事業」「今治ものづくり企業支援事業」を実施したほか、令和6年2月には、伴走支援を受けている市内企業11社の成果報告会を開催し、市内企業37社が参加した。 ○域外技術のインバウンド事業 域外から新たな技術を取り込み、自社技術と融合させることで、新商品・新サービスの開発等に取り組む市内企業を支援する事業。 令和5年度は、伴走支援事業者と連携し、市内企業5社と、マッチングした共創パートナー企業との共同開発が円滑に進むよう、実証・実装の取組を支援し、モデル事業の創出に取り組んだ。3年間の成果となるモデル事業は、事業発表会等を開催することで、市内事業者へのスキル・ノウハウ・成功事例の横展開を図った。 ○域内技術のアウトバウンド事業 特色ある技術や素材等を新たな視点で用途展開する新商品・新サービスの開発等に取り組む市内企業を支援する事業。 令和5年度は、伴走支援事業者と連携し、市内企業6社と、マッチングしたクリエイターとの新商品開発が円滑に進むよう、試作開発の助言、マーケティングのサポート等の伴走支援を行い、モデル事業の創出に取り組んだ。3年間の成果となるモデル事業は、イベント出展やクラウドファンディングなど販路開拓に向けた取り組みを実施し、新たな価値の創出に寄与した。					

事業効果	
域外から新たな技術や視点を取り入れた新商品・新サービスの開発を、令和3年度から継続して伴走支援してきたことで、新商品・サービス開発の進捗が図られ、成果報告会などを通じ、得られた成果を「今治共創ラボ」会員企業等と共有する中で、新たな参画につなげることができた。3つの事業をしっかりと連携させながら、具体的なモデル事業の創出に取り組んだことにより、ものづくりから価値づくりへの産業の高度化や、価値づくり産業への転換を担う人材育成の推進が図れた。	

評価及びそれを受けての市の方針

外部有識者による評価	議会からの意見	今後の方針、改善点など
☒ 総合戦略のKPI達成に有効であった ☐ 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない (主な意見) 今後の方針のとおり事業を進めることで了承した。	特段の指摘なく了承された。	3年間の伴走支援事業者との連携で創出されたモデル事業のノウハウ・スキルを今治市内事業者に広く波及させるための産業振興の施策を展開していく。